

要請番号 (JL03020A32)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ミャンマー	G161 体育		個別	交替 3代目	2年	・ 2020/2 ・ 2020/3 ・ 2021/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

保健・スポーツ省

2) 配属機関名 (日本語)

スポーツ体育研究所、ヤンゴン

3) 任地 (ヤンゴン市) JICA事務所の所在地 (ヤンゴン市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は、エリート選手や指導者の育成、スポーツ研究を目的に1992年設立された。25種目に分かれた約500名の11-17歳の生徒を対象に通年トレーニングを実施している。各競技のトレーニングは主に早朝および夕方に実施され、選手たちは日中は学校に通っている。その他、地域のスポーツ団体コーチの研修、小学校教員への体育研修などのコースも開設されている。各種競技のコーチ約40名、その他職員約140名が勤務している。年間予算は約1億円。JICA海外協力隊については、2016年から派遣(体育短期SV)を開始。現在、長期隊員2名(陸上競技、バレーボール)が活動中。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

配属先は、2年毎に開催される東南アジア競技大会に出場するエリート選手の育成を目指している。しかし、配属先コーチが新たな技術や指導法を学べる機会は限られており、選手たちの技術力向上を図るうえでの課題となっている。配属先では各競技それぞれの専門トレーニング以外に、週に2回程度、ジムでの筋力トレーニングも実施している。先代のJICA海外協力隊員(2017年度3次隊、体育)は、選手たちの身体の成長や各種目の特性を考慮したトレーニングメニューの作成・実施、およびコーチの指導力向上へのサポートに取り組んでおり、配属先からは高い評価を受けているが、現地コーチだけで十分に効果的な指導ができるまでには至っておらず、引き続き、JICAボランティアによる協力が求められている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 各種目のコーチや生徒に対して、適切な筋力トレーニング方法を指導する。
 - 機材の適切な活用法を指導する。
 - 各種目や年齢に応じたトレーニング計画へのアドバイスや指導、ワークショップの開催も期待されている。
 - その他配属先が必要とする支援を行う。
- ※ミャンマーでは初中等教育において体育が十分に教えられておらず、大多数の生徒がスポーツ未経験者として入学する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

トレーニングルーム、基本的なトレーニングマシン

4) 配属先同僚及び活動対象者

校長:男性、50代
各種目コーチ48名
指導対象選手 約500名、11歳から17歳
(レベルは日本の中高の部活程度。入学時点では縄跳びや前転ができない生徒も多い)

5) 活動使用言語

ミャンマー語

6) 生活使用言語

ミャンマー語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許/資格等]: ()

[学歴]: () 備考:

[性別]: () 備考:

[経験]: (指導経験) 5年以上 備考: 各種目のコーチに指導するため

[参考情報]:

- ・スポーツジム等での指導経験

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]: (熱帯モンスーン気候) 気温: (17.5~37.0℃ [電気]: (安定) 位)

[通信]: (インターネット可 電話可)

[水源]: (安定)

【特記事項】

配属先敷地内の宿舎に居住する。任国の査証手続のため、他の国の同じ隊次より派遣時期が遅れる。

【類似職種】